

せがわ薬局 健康新聞 Ver. 27



今回からは糖尿病の**お薬**についてお話したいと思います。
まずは、糖尿病のお薬を**飲む時の注意事項**から確認していきましょう。

糖尿病の治療は**食事療法**と**運動療法**が基本です。
それらを十分に行った上で、血糖コントロールが
不十分な場合に**薬物療法**を併用します。

ここで忘れてほしくないのは・・・
薬物療法を始めたからといって、

**食事療法・運動療法をやめていいわけでは
ありません！！**

あくまでも**最終目標**は『**薬をやめること**』なのです。
薬を飲み始めて、血糖値が良好にコントロールされると、
疲れやすい、のどが乾くといった自覚症状も
改善されやすくなります。

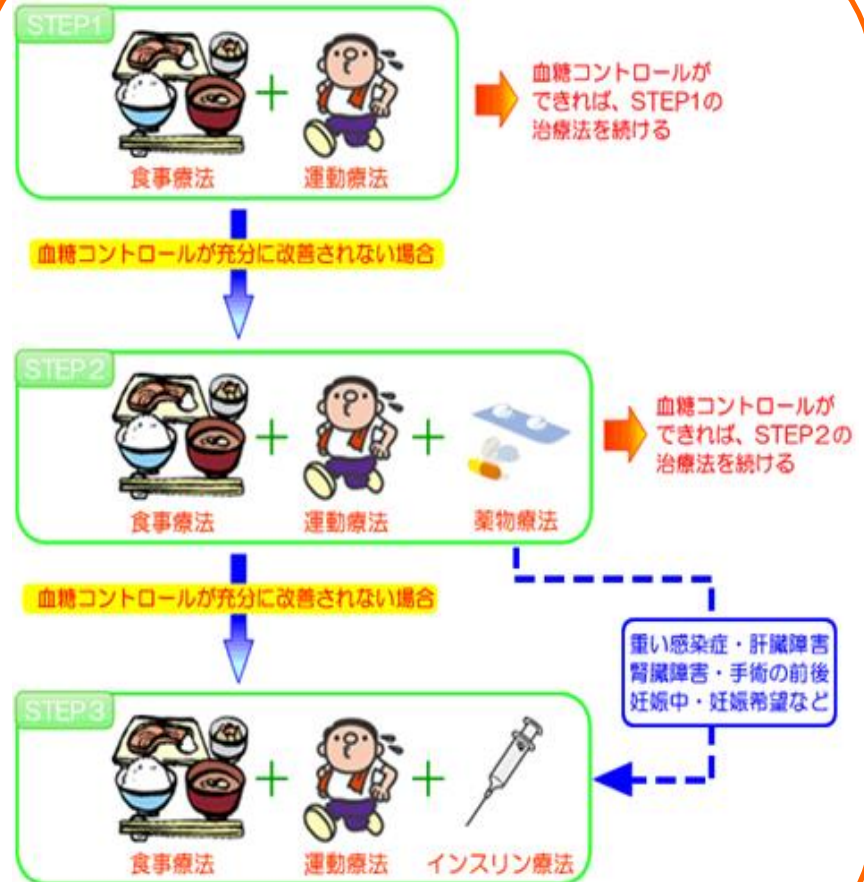
しかし、改善されたとしても糖尿病が治癒したわけでは
ありません。一度、糖尿病を発症してしまうと、症状を
軽快させることができても、治るといえるのは現在の医学で
は不可能だとされています。

したがって、症状がよくなった、血糖値が下がった
からといって、**薬物治療を勝手にやめるのは
非常に危険です。**

医師に相談してみましょう。



糖尿病の治療の流れ



薬を飲む時の注意事項

1. お薬は、主治医の指示通りに、規則正しく服用しましょう。
食事の量などで、お薬の量を勝手に増やしたり減らしたりしてはいけません。
2. お薬を飲むタイミングに注意しましょう。
糖尿病の飲み薬は、**飲むタイミング**（食後、食直前など）が決まっています。
・**食事をとらなかった場合、お薬は飲まないでください。**
お薬の種類によっては血糖値が下がりすぎ、低血糖を起こすことがあります。
・お薬を飲み忘れた場合、**次の服用時間にまとめて飲むのは絶対にやめましょう。**
3. 糖尿病の方が風邪をひいたり体調をくずしたりすると、血糖値が著しく変動することがあります。
そのような場合、**自己判断でお薬の量を変えることはやめましょう。**
主治医に相談してください。



1日1回のお薬は便利?!

「つい飲み忘れてしまった」ことや、「外出した時にくすりを持ち忘れた」など、1日に何回も飲まなければならないくすりは何かと不便。

そこで1日1回の内服薬が開発されました。

しかし、服用回数を少なくすると共にくすりの効果を持続させるため、このタイプの薬にはさまざまな工夫がされています。

例えば、**吸収の速さや排泄を遅らせる**。または**薬の分量を多くする**

などです。1日1回のくすりを服用する際の注意点は、やはりその使用方法。

自己判断で個数を変えて服用したりすると、効果が強いため胃腸障害を起こしたり、または副作用がでる場合があります。糖尿病のお薬に限らず、どの薬も同じですが、薬を飲む時の基本は「**医師の指示に従う**」ことです。



文責：瀬川 美樹

有限会社 瀬川 薬局

石川県七尾市鍛冶町50番地

TEL 53-0810 FAX 53-3557

<http://www.segawa-pharmacy.com/>